

令和 5 年 11 月 12 日

令和 5 年 10 月 17 日歩こう会委員会 HP 報告

令和 5 年 10 月 17 日（火）快晴の中、107 人の参加者で第 60 回秋の「歩こう会」第 3 弾「タイムスリップをして金澤の歴史を歩いてみよう」を実行しました。金沢八景駅をスタートし、徳川家康に所縁があり復元工事が終わり令和 4 年 4 月に新装した金沢八景権現山公園、、、源頼朝の瀬戸神社、、、北条政子の琵琶島神社、、、泥亀新田水門の跡と「照手姫と小栗判官」の伝承のある姫小島、、、瀬戸橋、、、「憲法草創の處」の碑（東屋跡）、、、龍華寺、、、金澤八幡神社(寺前八幡神社)、、、薬王寺などを通り、金沢北条氏一門の菩提寺である称名寺のゴールに着きました。

江戸時代中期までは瀬戸橋から手子神社辺りまでは大きな入江になっていて、「瀬戸の入海」とか「内川入江」などと呼ばれていました。国道 16 号端の君ヶ崎から「憲法草創之處」碑までのいわゆる旧道は、この入江の東縁に沿って造られていることがわかります。神社の前には幾つかの河岸もあり、小舟が行き交っていたそうです。

約 2 時間 30 分の行程でしたが歩いてみると知っているようで知らないことが結構ありました。皆さん、新たな発見との出会いを楽しんで頂き、事故もなく元気に無事終わりました。



秋の歩こう会： 称名寺前